

SEMINAR HOUSE NEWS NO.194

 大学セミナーハウス
INTER-UNIVERSITY SEMINAR HOUSE

公益財団法人大学セミナーハウス

192-0372 東京都八王子市下柚木1987-1

電話：042-676-8511 / FAX：042-676-1220

ホームページ：https://iush.jp/

セミナーハウス・ニュース No.194 / 2018年9月30日発行

料金割引の 各種利用プランご紹介

実施期間限定プラン

2018年10月1日～2019年3月1日までの
お得な期間限定の宿泊プラン！

通年実施プラン

1年を通して割引料金でご利用いただける
宿泊プランをご紹介します！

セミナー事業

2017年度開催セミナーの報告
2018年度主催セミナーの報告及び開催予定

SPA報告

法人ニュース

理事会報告・評議員会報告

宿泊事業報告

宿泊実績などを掲載

eラーニングによる教員免許状更新講習



料金割引の 各種利用プランご紹介



1. 実施期間限定プラン 2018.10.1 (in)～2019.3.1 (out) ※年末年始休館日を除く



期間限定 ゼミ合宿プラン

| | |
|----|--------------------------------------|
| 対象 | 会員・準会員校および全国の各大学、短期大学等のゼミ合宿（原則15名以上） |
| 料金 | 1泊朝食付 おひとり様3,000円～3,400円 |

大学セミナーハウス協力会員・準会員校はセミナー室1室無料、一般校はセミナー室使用料が半額になります。卒論報告会や1年間のゼミ活動の仕上げにぜひご利用ください。

直前予約割引プラン

| | |
|----|---|
| 対象 | プラン実施期間中のご宿泊をご利用日の2か月前からご予約いただく団体（15名～200名） |
| 料金 | 1泊朝食付 おひとり様3,000円～3,700円 |

大学セミナーハウス協力会員・準会員校はセミナー室1室無料、一般校、社会人の団体は2019年1月～2月の利用に限りセミナー室使用料が半額になります。企業研修、サークル活動などお気軽にご利用ください。

音楽関係ご利用プラン

| | |
|----|---------------------------------|
| 対象 | 楽器演奏、合唱などの音楽練習を目的とした団体（原則15名以上） |
| 料金 | 1泊朝食付 おひとり様3,000円～3,700円 |

使用セミナー室として防音設備、ピアノがある講堂と中央セミナー室のいずれかをご利用いただくプランです。大学セミナーハウス協力会員・準会員校はセミナー室1室無料、一般校、社会人の団体は2019年1月～2月の利用に限りセミナー室使用料が半額になる特典付きです。

測量実習プラン

| | |
|----|---|
| 対象 | 測量実習を行う大学の学科、ゼミ、社員研修として測量実習を行う法人団体など（原則15名以上） |
| 料金 | 1泊朝食付 おひとり様3,000円～3,700円 |

施設内の測量には料金がかかりません。さらに、地形図や報告書の作成に必要なセミナー室を、大学セミナーハウス協力会員・準会員校は1室無料、一般校、社会人の団体は2019年1月～2月の利用に限り使用料が半額になる特典付きです。

2. 通年実施プラン

留学生短期滞在 応援プラン

| | |
|----|--------------------------------------|
| 対象 | 日本国内に短期留学する学生及び教職員で滞在期間が1週間以上3ヶ月以内の方 |
| 料金 | 1泊（食事なし） おひとり様1,620円または2,160円 |

※大学セミナーハウス協力会員・準会員校の留学生とその他の大学の留学生で料金が異なります。

留学生、研究員の受け入れ予定がある大学の担当部局、先生方からのお問い合わせをお待ちしております。



協力会員大学附属系列校限定 合宿研修料金割引プラン

| | |
|----|--------------------------------------|
| 対象 | 会員・準会員校および全国の各大学、短期大学等のゼミ合宿（原則15名以上） |
| 料金 | 1泊朝食付 おひとり様3,240円～4,320円 |

※お食事は別途料金にてお申し込みください。

※10/1～翌年3/1の期間でご利用の場合は、「直前予約割引プラン」の方が割安となります。

生徒会や部活動、先生方の研究会など、協力会員大学附属系列の小中学校・高等学校などの皆様に、会員大学料金でご利用いただけるプランです。

各プランについては大学セミナーハウスHP → 「お得な宿泊プラン」をご参照ください。



会費をありがとうございました

2018年1月～2018年8月 (敬称略)

1月

大澤恵美子、有山正孝、川崎正三、鈴木 皇、海老沢信一、岡崎 正、出光直樹、佐藤音彦、柳澤富雄、北原文雄、並木信一、柳父圀近

2月

佐藤 光、秋間 実、松山正男、白井克彦、肥前榮一、平野由紀子、泉敏彦、高松正昭、飯野訓征、小場瀬令二

3月

小林一彦、磯直道、宮腰 賢、池井 優、勝見允行、島田治夫、絹川正吉、小幡史朗、新保清子、小倉芳彦(2018年2019年2年分)、蓮見音彦、柴田泰比古

4月

松澤通生、甲斐義幸、松田信男、海老根宏、小場瀬純子、太田正孝、金子六郎

5月

加藤晴久、澤島侑子、滝口俊子、広内哲夫、小幡史朗、芳賀 徹、犬塚 博、椿 弘次、西澤宗英、朝野洋一

6月

安宅光雄、中村幸安、水谷眞智子、小倉充夫、石川達雄、生山智己、武者利光、慶谷伸代

7月

上野芳康、入江和夫、田中 裕、古本邦枝、松島 恵、中山光雄、太幡祐己、柴田 誠、伊藤意智郎、仙田 哲、瀬田裕司、橋本 智、厚東偉介、松尾秀雄、金谷 憲

8月

米村貞藏、小川信子、栗原裕、小池生夫、山田耕司、村田光二、得田保雄、國岡昭夫、新井勝紘、荒川由美子、沖塩莊一郎

会員からのメッセージ

(敬称略)

- セミナーハウス本館が雑誌「たまらび」2017年夏号で、泊まれる名建築として紹介されてました。その美しき姿に拍手です。**山梨学院大学・海老沢 信一**
- 誕生日のお知らせ、いつもありがとうございます。**出光 直樹**
- 満98歳の誕生日をなんとか元気で迎えることができ、昨年8月、十数年来の仕事をもとめて『コロイド化学史』として刊行することができました。**北原 文雄**
- 学生として、1960年代、1970年代しばしば伺ったのがなつかしく思い出されます。**柳父 圀近**
- または是非うかがいたいものです。**佐藤 光**
- 祝いのおこぼ、ありがとうございます。卒寿とやら、脚力が衰えて遠出がしにくくなりまして、大学セミナーハウスへはもう伺えないでしょう。しかし、かげながら応援しつづけます。**秋間 実**
- 大学セミナーハウスのすばらしい活動を理解し支持する人がたくさんであることを願っております。**神奈川大学名誉教授・松山 正男**
- 大学セミナーハウスでの研究会をつうじて訳出したマックス・ウエーバー『ロシア革命論II』は、最近になってようやく注目され始めました。83歳になります。**肥前 榮一**
- 世の中の変化が激しいですね。若い方々がますます活躍され、「新しい社会」を築いていってくださるよう祈っています。**高松 正昭**
- 認知症の方々のケア3年目に入ります。**小林 一彦**
- 80歳の誕生日が迎えられました。**宮腰 賢**
- ニュースレター等を拝見し素晴らしい施設になっていることを知り、嬉しく存じます。学生さん達に喜んで使われるように期待いたします。**島田 治夫**
- おかげさまで83才。現役の牧師です。毎月2回、東北支援へ7年間奉仕しています。**小幡 史朗**
- 超高齢化ゆえ、これを以て終了とさせていただきます。**小倉 芳彦**
- 千人会会費です。現在、年金ぐらして、又、在宅療養中の為、あまりお手伝いできませんが、よろしく。(3月末セミナーハウスの桜を見に行きました。とても美しく、心なごみました)**甲斐 義幸**
- セミナーハウスの存在意義が今こそ求められているように思います。民主主義の大切さも問われてますね。**太田 正孝**
- とうとう93才になり、あちこち傷んできていますが、毎年研究室の卒業生が元研会と称して集まって祝ってくれます。セミナーハウスでの思い出話なども出ます。何十年も昔になりますが、ハウスでの人間的なふれ合いが師弟の間の交わりを深いものにしてくれたことと感謝しております。Plain Livingを楽しんでおります。**金子 六郎**

- セミナーハウスの御発展を祈りつつ。**澤島 侑子**
- 1ヶ月ほど入院してしまっていて、まだまだフラフラ。もう少し神に人に仕えさせていただきたく祈っています。**小幡 史朗**
- 小生、87歳とはみずから驚いています。昨春秋「文明としての徳川日本」という本をだし(筑摩書房)、今回、日本芸術院賞・恩賜賞というのを頂戴することになり、思いがけぬことと喜んでおりますが、さらに何年かの余生を最後の著述に献げたいと願っております。どうぞよろしく。**芳賀 徹**
- ここを訪れる人にインパクトを与え続ける存在でありますことを願っています。**犬塚 博**
- 3月で25年間勤めた本務校を定年退職し、併せて私立大学教員としての43年間に終止符を打ちました。比較法中心に少しづつ研究は続けます。**西澤 宗英**
- ご発展をお祈り申し上げます。**慶谷 伸代**
- 誕生日のカードありがとうございます。おかげさまで少しでも仕事ができますことをうれしく思います。**松島 恵**
- お蔭様でまだ少し元気に過ごしております。早稲田大を定年退職後、ご縁のございました岐阜県中津川市の「中京学院大学」に「遠距離通学中」!!(2泊3日です!!) **厚東 偉介**
- 不順な季節、皆様にはお変わりなくいらっしやいましょうか。いつも誕生日のおこぼをありがとうございます。89才になり、貴セミナーハウスの創設当時の飯田先生、上代先生、一番ヶ瀬先生の思い出がよぎります。**小川 信子**
- 86歳になりました。大学セミナーハウスは年々進化していくのはおめでたいことです。昔の創立当初の思い出も貴重です。**小池 生夫**
- 3月に一橋大学を定年退職して、4月からは成城大学社会イノベーション学部に通っています。**村田 光一**
- 大学セミナーハウスの益々のご発展をお祈りします。**得田 保雄**
- 学生時代にはじめてセミナーハウスをゼミで利用してから50年となります。相変わらず多摩地域の近現代史調査に取り組んでいます。**新井 勝紘**



千人会のご案内

千人会は、大学セミナーハウスを支えるための個人からなる後援組織として発足しました。大学セミナーハウスは、今後も単なる宿泊施設としてではなく、大学間の壁を越えた知的出会いの場として、また、地域の人々や社会人にも開かれた研修施設として、さらなる発展をめざしております。

千人会にご関心を寄せていただければ幸いです。

「人の善意によって経営が支えられるということは最も理想の形態である」

—千人会第1号会員 故山内恭彦先生(理学博士・東京大学名誉教授)—

千人会会費

A会員 年額 10,000円 B会員 年額 5,000円
C会員 年額 3,000円 終身会員 100,000円

お問合せ先

総務課 TEL 042-676-3081
FAX 042-678-4734
MAIL soumu-g@seminarhouse.or.jp

第26回理事会報告(2017年度第4回)

1. さくら館建設借入金の返済方法の変更及び資金計画(借入)について
2. 2018年度収支予算(案)について

2018年3月5日開催

第26回(2017年度第4回)理事会が、2018年3月5日(月)16時00分から18時00分、桜美林大学四谷キャンパス(千駄ヶ谷)において、理事9名(理事総数11名)の出席のもと開催され、全議案が滞りなく承認され、全報告事項が了承された。

1. さくら館建設借入金の返済方法の変更及び資金計画(借入)について
資金繰りの改善を図るためにさくら館建設借入金の借入期間の延長と支払い資金の借入れについて提案説明があり、全会一致で承認された。

2. 2018年度収支予算(案)について

第25回(2017年度第3回)理事会で承認された2018年度事業計画に基づいて予算編成した旨の説明があり、2018年度収支予算について全会一致で承認された。

2018年度予算書についてはホームページ「大学セミナーハウス」⇒「法人のご案内」⇒「情報公開」をご参照ください。

第27回理事会報告(2018年度第1回)

1. 2017年度事業報告(案)について
2. 2017年度決算(案)について
3. 2018年度第1回評議員会の日程について
4. 八王子市との土地交換契約の締結について
5. 2018年度会費の減額申請について
6. 公益財団法人大学セミナーハウス事務組織規程の改正について
7. 公益財団法人大学セミナーハウス職員賃金規定の改正について
8. 公益財団法人大学セミナーハウス非常勤職員就業規則の改正について

2018年6月1日開催

第27回(2018年度第1回)理事会が、2018年6月1日(金)16時00分から18時00分、桜美林大学四谷キャンパス(千駄ヶ谷)において、理事8名(理事総数11名)の出席のもと開催され、全議案が滞りなく承認され、全報告事項が了承された。

1. 2017年度事業報告(案)について

2017年度は、以下の6項目を重点項目として事業活動を進めてきた。

- ① 宿泊利用者拡大施策の展開
- ② セミナー事業の充実
- ③ 留学生支援事業の継続・充実
- ④ 広報活動の強化と連携・協働体制の構築
- ⑤ 財政の基盤強化
- ⑥ 法人としての基盤整備

施設の老朽化への対応、新たな宿泊利用者の獲得、セミナー事業の見直しおよび固定客依存型の宿泊研修支援事業、会費依存型の経営からの脱却が喫緊かつ最大の課題である。この課題の解決が、当法人の収益構造を健全化し、財政基盤の強化を実現することになると考えている。

2016年度については、宿泊施設の修繕など収益に直結する計画に集中的に資金投下するとともに既存の経費については厳しく検証することで、財政立て直しのための環境整備を図ってきた。

しかし、2017年度は会費収入の減収は抑えられたものの、宿泊事業収入が大きく減少し、加えて新食堂棟建設、各種大規模修繕など固定資産取得に予定を大幅に上回る資金支出を余儀なくされ非常に厳しい状況となった。

一方で当公益財団法人としての目的を全うし、その社会的役割をより一層果たすために、既存の主催セミナーの充実に加えて、新規主催セミナーの実施、教員免許状更新講習の地方大学との連携等に力を注ぐとともに、グローバルアカデミーセミナーの新たな展開に向けた準備などを進めてきた。

以上の通り、2017年度事業報告(案)についての説明があり、異議なく承認された。

2017年度事業報告についてはホームページ「大学セミナーハウス」⇒「法人のご案内」⇒「情報公開」をご参照ください。

2. 2017年度決算(案)について

2017年度決算概況については、年間宿泊利用者数に関して目標の34,000人に対して29,753人となり目標には及ばず、学生と社会人の宿泊事業収益も前年度実績比較で減少した。正味財産は、4,610万円減少したが、これは、固定資産の減価償却等による3,757万円の資産の減少と負債の増加によるものである。負債の増加は、流動負債の未払金、預り金等の増加及び流動・固定負債の借入金等の増加である。

公益法人会計の三原則(収支相償、公益目的事業比率、遊休財産)に関しては、基本的に守られている。

以上の通り、2017年度決算(案)についての説明があり、異議なく承認された。

2017年度決算書についてはホームページ「大学セミナーハウス」⇒「法人のご案内」⇒「情報公開」をご参照ください。

3. 2018年度第1回評議員会の日程について

6月25日(月)桜美林大学四谷キャンパス(千駄ヶ谷)において16時より開催することが承認された。

4. 八王子市との土地交換契約の締結について

新食堂棟の建築確認申請の事前審査で、八王子市との土地交換処理が済んでいない部分があることが判明した。さらに新しいは坂工事計画による土地交換処理も必要になり、併せて八王子市と当法人とでその所有する土地の所有権を相互に移転することを目的として土地交換契約を締結することについて承認された。

5. 2018年度会費の減額申請について

全会一致で承認された。

6. 公益財団法人大学セミナーハウス事務組織規程の改正について

全会一致で承認された。

7. 公益財団法人大学セミナーハウス職員賃金規定の改正について

全会一致で承認された。

8. 公益財団法人大学セミナーハウス非常勤職員就業規則の改正について

全会一致で承認された。

第11回評議員会報告(2018年度第1回)

1. 2017年度事業報告(案)について
2. 2017年度決算(案)について
3. 評議員の退任に伴う補充選任について
4. 所管行政庁の変更認定申請と定款の変更について

2018年6月25日開催

第11回(2018年度第1回)評議員会が、2018年6月25日(月)16時00分から18時00分、桜美林大学四谷キャンパス(千駄ヶ谷)において、評議員8名(評議員総数15名)、監事1名の出席および理事長、館長、専務理事陪席のもと開催され、全議案が滞りなく承認され、全報告事項が了承された。

1. 2017年度事業報告(案)について

第27回理事会と同じ

2. 2017年度決算(案)について

第27回理事会と同じ

3. 評議員の退任に伴う補充選任について

退任 評議員：高石 道明(信州大学元教授) 2017年10月21日逝去
補充選任評議員：渡邊 啓貴(東京外国語大学大学院教授)

4. 所管行政庁の変更認定申請と定款の変更について

変更内容はeラーニングによる教員免許状更新講習について2017年度から当法人の講習コンテンツと受講システムを利用しながら地方の大学等に受講受付、修了試験の実施、修了証の発行を委託する事業を展開しているが、それに伴い定款を次の通りに変更する必要が生じた。

定款変更の申請が内閣府から認定された時点で、第4条2項「前項の事業は、東京都において行うものとする。」を「前項の事業は、全国において行うものとする。」に変更する。

この「東京都」から「全国」への変更により、行政主管は、「内閣府」となる。

なお、当案件については、2017年12月開催の理事会で承認されている。

以上の通り、定款の変更についての説明があり、異議なく承認された。

以上

理事・監事・評議員名簿 (2018年9月15日現在)

理事 (11名)

理事長： 荻上 紘一 (東京都立大学名誉教授/大学評価・学位授与機構名誉教授)
館長： 鈴木 康司 (中央大学元学長)
専務理事： 外村 幸雄 (中央大学元広報室長)
常務理事： 白井 克彦 (早稲田大学元総長)
理事： 上野 淳 (首都大学東京学長)
 大場 昌子 (日本女子大学学長代行)
 小川 哲生 (明星学苑副理事長)
 佐藤 東洋士 (桜美林学園理事長・学園長)
 増田 正人 (法政大学副学長・常務理事)
 三木 義一 (青山学院大学学長)
 室伏 きみ子 (お茶の水女子大学学長)

監事 (2名)

監事： 冲永 佳史 (帝京大学理事長・学長)
 光田 明正 (桜美林大学孔子学院名誉学長)

評議員 (16名)

評議員会議長： 鷲山 恭彦 (東京学芸大学名誉教授)
評議員： 石森 孝志 (八王子市長)
 大井 孝 (一般社団法人日米協会理事)
 高祖 敏明 (上智学院前理事長)
 小畑 秀文 (国立高等専門学校機構前理事長)
 篠田 節子 (作家)
 清家 篤 (慶應義塾前塾長)
 夢沼 宏一 (一橋大学学長)
 馬場 善久 (創価大学学長)
 日比谷 潤子 (国際基督教大学学長)
 ピーター・マツキヤグ (国際教養大学副学長)
 村田 雄二郎 (同志社大学大学院教授)
 八木 敏郎 (多摩信用金庫理事長)
 山本 眞一 (桜美林大学大学院教授)
 吉岡 知哉 (立教大学前総長)
 渡邊 啓貴 (東京外国語大学大学院教授)

宿泊事業報告

◆年間の宿泊利用者数 29,753人

平成29年度の宿泊利用者数は29,753人で、前年度が31,759人でしたので、前年度と比較して2,006人の減少でした。

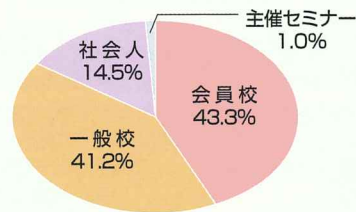
上期は、17,313人(前年19,298人、前年比89.7%)で、1,985人の減少となりました。(内訳:会員校▲1,637人、一般校+170人、社会人▲518人)

下期は、12,440人(前年12,461人、前年比99.8%)と、前年度と比較して21人の減少となりました。(内訳:会員校▲572人、一般校+987人、社会人▲436人)

年間では前年比で会員校85.6%、一般校110.4%、社会人81.9%になりました。

平成30年度は各種プランを企画・立案して利用人数の増加を図りたいと思います。

＜図1＞利用者区分構成比



利用区分構成比率は会員校で前年比▲4.0ポイント、一般校+6.2ポイント、社会人▲2.1ポイント、主催セミナー▲0.1ポイントになりました。

◆宿泊の年間稼働率は29.6%

29年度の営業日数は360日で、宿泊室(宿泊定員279人)の年間平均稼働率は29.6%でした。

尚、ご参考までに利用の多かった協力会員校を紹介します。

＜表2＞協力会員校利用上位10校

●宿泊延べ人数

| 順位 | 校名 | 延べ人数 |
|----|--------|-------|
| 1 | 創価大学 | 1,178 |
| 2 | 首都大学東京 | 1,045 |
| 3 | 法政大学 | 963 |
| 4 | 中央大学 | 802 |
| 5 | 東洋大学 | 742 |
| 6 | 早稲田大学 | 694 |
| 7 | 帝京大学 | 549 |
| 8 | 上智大学 | 504 |
| 9 | 東京工業大学 | 419 |
| 10 | 明星大学 | 373 |

●利用件数

| 順位 | 校名 | 利用件数 |
|----|---------|------|
| 1 | 首都大学東京 | 36 |
| 2 | 法政大学 | 27 |
| 3 | 創価大学 | 22 |
| 4 | 中央大学 | 22 |
| 4 | 帝京大学 | 19 |
| 5 | 早稲田大学 | 18 |
| 6 | 上智大学 | 15 |
| 6 | 東洋大学 | 15 |
| 7 | 桜美林大学 | 12 |
| 8 | 駒澤大学 | 10 |
| 9 | 青山学院大学 | 8 |
| 10 | 芝浦工業大学 | 7 |
| 10 | 東京外国語大学 | 7 |
| 10 | 東京工業大学 | 7 |
| 10 | 明星大学 | 7 |

最新の宿泊プランは、
ホームページをご覧ください。

◆区分利用状況

平成29年度

宿泊延べ利用人数全体に占める区分別の構成比は表1、図1に示す通りです。

＜表1＞宿泊延べ人数表

| 年度 | 平成29年度 | | 平成28年度 | |
|--------|----------|--------|----------|--------|
| | 宿泊延べ人数 | 構成比 | 宿泊延べ人数 | 構成比 |
| 会員校 | 12,886 | 43.3% | 15,044 | 47.3% |
| 一般校 | 12,273 | 41.2% | 11,116 | 35.0% |
| 社会人 | 4,304 | 14.5% | 5,258 | 16.6% |
| 主催セミナー | 290 | 1.0% | 341 | 1.1% |
| 合計 | 29,753 | 100.0% | 31,759 | 100.0% |
| 収容定員 | 279人 | | 279人 | |
| 年間稼働日数 | 360日 | | 360日 | |
| 年間収容定員 | 100,440人 | | 100,440人 | |
| 年間稼働率 | 29.6% | | 31.6% | |

平成30年度 eラーニングによる教員免許状更新講習

Inter University Seminar House

IUSHへログイン

ユーザー名*

パスワード*

*は必須項目です

ログイン

これまで大学セミナーハウスで開講してきたeラーニングによる教員免許状更新講習は、平成30年度4月より、受講はもちろん、試験も自宅で受けられるシステムに改良し(特許出願中)、文部科学省にも実施が承認された。

そのため申込者数が伸び、9月13日現在では、昨年度1年分の申込者数448名をすでに超え、1,258名に達した。今後はこの利便性を広く各都道府県に告知することにより、さらに利用者を増やすよう努めたい。



2017年度主催セミナー実施報告

■ 第3回 吉笑ゼミ。in 京都大学

テーマ：「知る喜び、知られる喜び」

開催日：12月17日(日)

参加者：37名(社会人31名、大学生2名、高校生3名、中学生1名)



今年度の2回目の「吉笑ゼミ」は、京都大学吉田キャンパスの百周年時計台記念館を会場に37名の参加者を得て実施した。なお、会場をお借りするに当たり同大学大学院の増田眞教授には多大なご協力をいただきました。ここに改めて謝意を表したい。

今回のゲスト講師は、住宅兼合気道の道場である『凱風館』の設計で一躍注目を集めた若手建築家・光嶋裕介氏。「建築一空間における生命力」と題する講義の中で、光嶋氏は古今東西の建築を独自に解釈され、建築が持っている「面白さ・奥深さ」を改めて気づかせてくれた。この講義を聞いていた立川氏は即興で落語を創作し、披露してくれた。ゼミの参加者からは「講義と落語はとても違うのにいろいろなところでリンクしていたのが興味深かった」、また立川氏と光嶋氏のトークは「ボクシングを見ている」ような軽妙なダイヤログで知的な想像力が掻き立てられたとの感想が寄せられた。

詳細はセミナーハウスホームページに掲載▶



2018年度主催セミナー一覧

| セミナー名 | 開催日 | 講師・企画（運営）委員 | 対象 | 参加者定員 |
|---|-------------------------------------|---|---------|----------------------|
| 第37回大学職員セミナー 終了 「大学職員の役割をあらためて考えよう」 | 7月6日(金) | 特別講師：田中優子(法政大学総長) 委員：近藤清之(法政大学常務理事)、山本眞一(桜美林大学大学院教授)、青木加奈子(高崎経済大学教育グループキャリア支援チーム)、大久保陽造(中央大学入学センター入学企画課課長)、黒田絵里香(慶應義塾総務部主任) | 大学教員 | 100名 (参加者 91名) |
| 公開教育講座 終了 「私は『待つ』ことができる教師(親)か 一子供は、『扱われた』ように他者を 『扱う』」 | 8月18日(土)～ 8月19日(日) 2日間日帰りセミナー | 講師：安積力也(基督教独立学園高等学校 前校長、日本聾話学校・恵泉女学園中学・高等学校 元校長) | 教員・その他 | 50名 (参加者 26名) |
| 第8回新任教員研修セミナー 終了 「多様な他者と協働するアクティブ・ ラーニングとティーチング・ポート フォリオ」 | 9月3日(月)～ 9月5日(水) | 講師：榊原暢久(芝浦工業大学教育イノベーション推進センター教授)、諏訪茂樹(東京女子医科大学看護学部准教授)、村山光子(明星学苑法人本部企画部課長)、佐藤順子(セミナーハウス・プロジェクトアドベンチャー ファシリテータ) 委員・講師：菊地滋夫(明星大学副学長)、福山佑樹(明星大学明星教育センター特任准教授) | 大学教員 | 40名 (参加者 27名) |
| 第7回E Uセミナー 「分裂に立ち向かうEU」 | 9月28日(金)～ 9月30日(日) | 講師・委員：太田瑞希子(亜細亜大学講師)、押村高(青山学院大学教授・副学長)、小久保康之(東洋英和女学院大学教授)、武田健(東海大学講師)、田中素香(中央大学経済研究所客員研究員・東北大学名誉教授)、中西優美子(一橋大学大学院教授)、蓮見雄(立教大学教授)、福田耕治(早稲田大学教授)、渡邊啓貴(東京外国語大学大学院教授) | 大学生・社会人 | 70名 |
| 憲法を学問するⅢ | 10月6日(土)～ 10月7日(日) | 講師・委員：樋口陽一(東京大学名誉教授・東北大学名誉教授)、石川健治(東京大学法学部教授)、蟻川恒正(日本大学大学院法務研究科教授)、木村草太(首都大学東京法学系教授)、穴戸常寿(東京大学法学部教授) | 大学生・社会人 | 60名 |
| 第38回大学職員セミナー 「大学職員の役割をあらためて考えよう」 | 10月18日(木)～ 10月19日(金) | 講師：三輪義彦(上智大学学長補佐)、眞島和巳(中央大学事務局長・理事) 委員・講師：山本眞一(桜美林大学大学院教授)、近藤清之(法政大学常務理事)、青木加奈子(高崎経済大学教育グループキャリア支援チーム)、大久保陽造(中央大学入学センター入学企画課課長)、黒田絵里香(慶應義塾総務部主任) | 大学職員 | 40名 |
| 古田武彦記念古代史セミナー2018 | 11月10日(土)～ 11月11日(日) | 特別講演：山田宗睦(哲学者) 実行委員：荻上紘一、大墨伸明、橘高修、齋藤隆雄、西坂久和、富川ケイ子、和田昌美 | 大学生・社会人 | 60名 |
| 世界の中の中国と日本 ―現代中国理解― | 12月1日(土)～ 12月2日(日) | 講師・企画委員長：川島真(東京大学大学院教授) 講師：小嶋華津子(慶應義塾大学准教授)、金野純(学習院女子大学准教授)、内藤二郎(大東文化大学教授) | 大学生・社会人 | 60名 |

2018年度主催セミナー実施報告

■ 第37回大学職員セミナー

テーマ：「大学職員の役割をあらためて考えよう」
開催日：7月6日(金)
参加者：91名・58校



法政大学市ヶ谷キャンパスのボアソナードタワー・スカイホールを会場に91名の参加者を得て実施した。セミナーでは、2030年の法政大学のあるべき姿を構想した長期ビジョン

「HOSEI2030」の策定プロセス

や「法政大学憲章」を体現する「自由を生き抜く実践知」のブランディング・プロセスなど学生・教職員を巻き込みながら大学改革を推進する法政大学総長・田中優子氏が、リーダーとして改革に取り組むなかで、いかに学生・教職員はもちろんのこと職員の果たすべき役割が重要であるかということを自らの実践に基づいて講演された。

詳細はセミナーハウスホームページに掲載▶



■ 公開教育講座

テーマ：私は「待つ」ことのできる教師(親)か--子どもは、「扱われた」ように他者を「扱う」
開催日：8月18日(土)～19日(日)
参加者：26名(教員13名、社会人6名、主婦3名、学生・生徒2名、その他2名)

2日にわたる日帰りセミナーは小規模ながら密度の高いセミナーとなった。講師・安積力也氏はメインテーマのもと、初日は「私は、他者を受け入れているか」、2日目は「私は、自分と対話しているか、普遍の世界と対話しているか」をサブテーマに、教員としての人生を振り返っての講演をされた。講演後の沈黙の時間で思いを言葉に記す作業は、己を見つめる絶好の機会となり、その後の話し合いを深めることに繋がった。初日のグループ別の話し合いは深夜にまで及び、2日目の全員の話し合いも終了時間を越えるほどの盛り上がりとなった。参加者からは、「今の教育現場での多忙さ、息詰まりを感じていたので、リフレッシュする機会になった」、「深い所で自分に新しい発見



をさせていただくことができるお話に感謝しかない。本当に参加させていただいて良かった」などの声寄せられた。

◀詳細はセミナーハウスホームページに掲載



■ 第8回新任教員研修セミナー

テーマ：「多様な他者と協働するアクティブ・ラーニング・ポートフォリオ」
開催日：9月3日(月)～5日(水)
参加者：27名・15校



●アクティブ・ラーニングに向けた関係性づくり

セミナーハウス・プロジェクト・アドベンチャー (SPA)

ファシリテーター 佐藤順子氏

●アクティブ・ラーニング講座

1. 多様性が活きる学びを目指して

明星大学副学長/人文学部教授 菊地滋夫氏

2. アクティブ・ラーニングの基礎理論と実際

明星大学明星教育センター特任准教授 福山佑樹氏

●ワークショップ

1. ティーチング・ポートフォリオチャート作成体験WS

芝浦工業大学教育イノベーション推進センター教授 榎原暢久氏

2. 相互理解を深め 人間関係を築くコミュニケーション・ワーク

東京女子医科大学看護学部准教授 諏訪茂樹氏

3. 対応が困難な学生理解のために—合理的配慮を踏まえて

明星学苑法人本部企画部課長 村山光子氏

詳細はセミナーハウスホームページに掲載▶



SPA報告

2018年1月5日～8月31日

| ご利用団体名 | 人数 | プログラムの主題 |
|-------------------------|-----|-------------------------------|
| 幼体連スポーツクラブ | 22 | アイデア・意見を伝える |
| 拓殖大学石川ゼミ | 30 | 1,2年生の関係づくりとチームで活動することの楽しさ・学び |
| アクサス株式会社 | 10 | メンバーの一体感 |
| 南大沢オックス少年野球部 | 43 | 声を出す・挑戦する気持ち・みんなでアイデアを出し合う |
| 多摩美術大学学生リーダーズキャンプ | 55 | 仲間づくり |
| 明星大学オリエンテーション合宿 | 177 | 仲間づくり |
| 帝京科学大学学校教育学科フレッシュマンキャンプ | 157 | 仲間づくり |
| 株式会社CLI | 51 | 人とつながることの大切さ |
| アクサス株式会社 | 26 | お互いをよく知る |
| 千葉大学園芸学部オリエンテーション | 42 | 新入生の仲間づくり |
| 株式会社ネオキャリア | 8 | 本音を言える関係作り |
| 多摩信用金庫 | 34 | 突破力・考える力・チームで働く力 |
| 多摩信用金庫 | 33 | 突破力・考える力・チームで働く力 |
| 中央大学人事部 | 12 | チームで働く力 |
| 多摩信用金庫 | 33 | 突破力・考える力・チームで働く力 |
| ARTE陵南サッカースクール | 13 | 失敗から学ぶ |
| 株式会社ネオキャリア | 8 | 本音を言える関係作り |
| ARTE狭間サッカースクール | 25 | 声掛け・協力 |
| アクサス株式会社 | 15 | 一体感・チャレンジ・他者を受け入れる |
| 合計 | 794 | |

※SPAプログラム以外は掲載していません。



この夏は日本中が猛暑に覆われて、熱中症の犠牲になった人々が非常に多いと報道されています。当セミナーハウスを長い間、支持して下さる千人会の方々は、その多くのメンバーが高齢でおられるので、暑さ対策にはことのほかご苦労されたことと拝し、心からお見舞い申し上げます。

この猛暑にもかかわらず、7月、8月のセミナーハウスは昨年より多くの来館者をお迎えすることができました。支えて下さる方々にはただひたすら感謝しております。

いうまでもなく、セミナーハウスのような組織は平和な社会が続いてこそ皆さんのお役に立つものです。国が動乱に巻き込まれ、人心が不安定な時には、このような組織を利用して研鑽を積もうなどという心のゆとりはなかなか持てません。創設以来半世紀、日本がどこの国も侵略せず、またどこからも侵略されずに来たおかげで我々も活動を続けていられます。

昨年は北朝鮮によるミサイル実験がきっかけとなり、アメリカ、韓国、日本と一触即発のような騒ぎが続きましたが、幸いにして、今年2月の韓国冬季オリンピックを境に雪解けムードが広がり、朝鮮戦争の当事者である韓国、北朝鮮、中国、アメリカの4か国間の首脳たちによる会談が次々とおこなわれて、当面、戦争の危機はひとまず遠のいた感があります。日本政府だけは拉致問題の故か、いつまでも北朝鮮敵視の態度を変えませんが、もう少し柔軟な外交政策をとりながら何とか相手を交渉の土俵にうまく乗せてほしいものです。誇張した表現をやたらに使う習慣のある相手に対してこちらと同じ調子でやり返す方法がよいのかどうか、関係者にはじっくり考えてほしいものです。

我々も平和な国際情勢を祈りつつ、今年度も、セミナーハウス主催のセミナーを行ってまいります。

既存の「EUセミナー」や樋口陽一先生を中心とした「憲法を学問する」、また「新任教員研修セミナー」「大学職員セミナー」などに加えて、「古田武彦記念古代史セミナー2018」と「世界の中の中国と日本—現代中国理解」という二つのユニークなセミナーを用意しました。前者は2015年に逝去された古田武彦先生によるセミナーを何とか復活したいと願う方々の熱意によって行われるもので、すでに関係者の方々の合意により着々と進んでおります。古田史学の衣鉢を継ぐ研究者のご参加を心待ちにしています。後者は読んで字のごとく、現代世界において強大な隣国である中国をどのように理解すればよいか、東京大学の川島真先生を委員長とした企画です。好むと好まざるとにかかわらず、隣国であり昔から密接な関係を持ってきた中国、その中国を理解し、どのように向き合うのが日本全体にとって有益なのか、今後の世界全体の推移を考えるうえでも非常に重要な問題だと思います。若い方々にも大いに参加して認識を新たにして頂きたいと考えています。

我々職員一同、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

広報室から お知らせ

しばらくお休みしていた「大学セミナーハウス・メールマガジン」を再開しました。すでに4号を配信していますが、今後配信をご希望の方は、ホームページのトップページ最上部

PICKUP [メールマガジンを配信希望の方はこちら](#)

からお申し込みください。主催セミナー情報、お得な宿泊プランのご案内など最新のトピックスをお送りします。

大学セミナーハウスのSNS(インスタグラム、フェイスブック、ツイッター)も是非ご覧ください。



▲こちらからもお申込みいただけます!

編集後記



夏を象徴するセミナーハウス内に咲き誇った“さるすべり”のあざやかな紅色の花、トチの木の黄土色の実等、異常な暑さも終わりを告げ、秋の気配を感じられる今日この頃。いよいよ芸術の秋、勉強の秋、読書の秋、スポーツの秋等を迎え、セミナーハウス内の力キも少しづつ大きくなってきました。



セミナーハウス・ニュース No.194

発行 = 公益財団法人 大学セミナーハウス
2018年9月30日発行

発行人 = 鈴木康司 発行部数 = 1,000部

編集 = 大学セミナーハウス 広報室

制作 = 株式会社エム・ジー・ケイ